

業務用機械器具

かぶしきがいしゃ ぶる
株式会社BULL



〒321-0905

栃木県宇都宮市平出工業団地43-103

<https://bull-space.com/ja>

JR宇都宮駅から約2.8km(バス約15分、車約10分)

お問い合わせ先

TEL: 070-8527-4862 FAX:

Email: 非公開 (<https://bull-space.com/ja/contact>)

ここがセールスポイント 宇都宮を宇宙宮へ！

当社は、「地球内外の惑星間の行き来を『当たり前』に」をビジョンに掲げ、2022年に栃木県宇都宮市で創業したスタートアップ企業です。私たちは、宇宙の持続可能性を重要な課題と捉え、宇宙デブリ(宇宙ごみ)の発生を防ぐ(Post Mission Disposal, PMD)装置「HORN」の開発に取り組んでいます。

会社概要

代表者名 宇藤 恭士

資本金 5282万円

年商 非公開

従業員数 36名(パート・派遣含む)

設立 2022年11月1日

取得規格

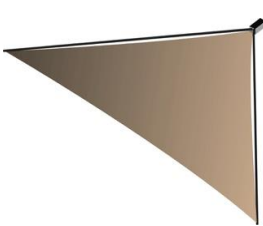
主な拠点・主要取引先

非公開

事業内容

宇宙デブリ化防止装置
(PMD: Post Mission
Disposal)「HORN」の開発

わが社の《宇宙機のデブリ化防止技術》にはこんな特徴があります！



製品名: HORN

当社が開発を行う宇宙デブリ化防止装置(PMD: Post Mission Disposal)「HORN」は、打上前のロケットや人工衛星に予め搭載し、軌道上で構造物を展開させる事で大気抵抗を増大させ、対象物体を迅速に減速・軌道離脱させることができます。2024年6月よりイプシロンSロケットへの搭載に向けてJAXAと共創活動を開始した他、2026年にはH3ロケットによる当社初の軌道上実証も予定しています。



宇藤 恭士

社長からのメッセージ

BULLは、宇都宮発のスタートアップとして世界の宇宙産業に新しい“当たり前”を創り出すことを使命としています。ロケットや人工衛星に対して、当社の宇宙デブリ化防止装置(PMD: Post Mission Disposal)「HORN」を搭載することで、役割を終えたロケットや人工衛星の残置物が新たなデブリとにならない未来を現実のものにしてまいります。「宇都宮を宇宙宮へ」をスローガンに掲げ、持続可能な宇宙開発への貢献を着実に進めてまいります。